

第 30 回 河瀬諭さん (名古屋工業大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 30 回目は、河瀬諭さん (名古屋工業大学) にご執筆いただきました。

音楽のコミュニケーションを解き明かす

うわー、グルーヴィーで気持ちいいドラムやなあ、どうやったら叩けるんやる？めっちゃうまいバンドは息がピッタリやけど何で？趣味でドラムをかじっていた私は、こんな単純な疑問から、いつのまにか感性情報心理学研究室の扉を叩いていました。学部では生物工学専攻だったので、心理学は未知の世界でしたが、音楽やリズムなどの自由なテーマでのびのび研究できたことに本当に感謝しています。

それから、やりたい研究に片っ端からとり組みました。合奏のタイミング調整をするアイコンタクト、リズムや音楽に合わせて体を動かしたくなるグルーヴ感、見るのが音楽鑑賞に与える影響、演奏者の社会的スキル、音楽と子どもの発達など。バラバラに見えるこれらの研究に一貫していたのは、演奏と鑑賞を創り上げている極めて精緻なコミュニケーションを、明らかにしたいという強い思いでした。例えば、合奏では機械的にきっちり合えばよいわけではなく、ごくわずかなズレや間（ま）なども重要です。このような絶妙な音楽のコミュニケーションは、人間の行動の不思議さを垣間見せてくれるので、興味は尽きません。

現在は名古屋工業大学で情報学関連の研究をしながら、人工知能を使ったオーケストラの実験や、ダンスやリハビリを支える音楽の調査なども始めています。音楽はあらゆる分野とコラボできる可能性を秘めていますので、これからも多様なテーマにチャレンジしていきます。

河瀬諭 (Satoshi KAWASE)

【ご所属】 名古屋工業大学

【ご連絡先】 satoshiyawase@gmail.com

【ホームページ】 <http://satoshiyawase.wixsite.com/satoshiyawase>

【その他】 皆様は、いつ・どんな音楽を聴いていらっしゃるでしょうか？私は研究で行き詰った時、好きな曲に心を慰められ、音楽ってやっぱりいいな、と自らのテーマに助けられています。私でお役に立てそうなのがございましたら、ぜひお気軽にご連絡ください。

音楽とコミュニケーションにご興味をもたれた方は、以下のウェブページもどうぞご覧ください。

http://www.yamaha-mf.or.jp/onkenscope/kawasesatoshi1_chapter3/